

生物工学分野

Biochemical, Biological and Biophysical Engineering
and related fields

日本生物工学会JABEE特別部会

岡山理科大学

滝澤 昇

JABEE 生物工学分野の歩み

1999 JABEE 設立

2000 生物工学会JABEE検討委員会設立

2003.3 生物工学分野の試行審査分野別要件策定公表

2002～2004 試行審査（3プログラム）

2004.3 「生物工学および生物工学関連分野」 発足

幹事学会 日本生物工学会（現JABEE特別部会）

関連学協会 日本農芸化学会、農学会、
化学工学会、日本化学会

2004 崇城大学生物生命学部「応用微生物工学科」

2005 徳島大学工学部「生物工学科 昼間コース」

九州工業大学情報工学部生命情報工学科

「生命情報工学教育プログラム」

2006 鳥取大学工学部生物応用工学科「生物応用工学科」

.....

JABEE 生物工学分野の歩み

プログラム数と修了生数

年度	プログラム数	修了生数	審査員数	審査研修員数	他分野審査へ (団長等を含む)
試行		3		9	8
2004	1	71	3	5	
2005	3	241	6	5	
2006	4	269	6	3	
2007	5	296	3	2	
2008	5	329	2		
2009	5	278	5	6	
2010	6	299	6	5	
2011	5	263	2		
2012	4	218	2	1	
2013	4	237	2		
2014	4	224	6		3
2015	4	253	3	2	2
2016	3	248	4		1
2017	6	421			1
2018	6	373	8		
2019	6	263			
2020	5	278	6	2	1
2021	5	267	3	1	
2022	5	245	2		
2023	5	-	7		
総数	10	5082	85	40	8

技術士 生物工学部門の様子

* 日本技術士会 生物工学部会30年の歩み(2021年) より引用

1987 バイオ研究会発足 (農業部門7名、化学部門1名)

1988 生物工学部門設置告知

1989 生物工学部門技術士試験実施 (8名合格)

2023年時点 (生物工学部会 東田英毅氏より情報提供)

生物工学部門技術士数：363名(第二次試験合格者累計)

内 技術士登録者数：338名

内 JABEE課程修了者：6名

生物工学部会の女性比率が高い

正会員で19% (全部門では2%) (2021年時点)

JABEE 生物工学領域の課題とこれから

- プログラム数が累計10（現行5）に止まる
 - ・領域が部分的に化学や化学工学、農学と被る、農学出身の教員が多い
 - 化学や化学工学、一般農学、複合・総合工学領域での受審
- 審査員の構成・世代交代
 - ・生物工学会JABEE特別部会委員 19名（内 企業3名）
 - ・産業界審査員の不足
 - ・審査件数が少なく審査員を育成する機会が少ない



国際的な教育の外部質保証としてのJABEE認定の意義および重要性の
理解・認知の増進
特に生物工学領域は「成長分野」



- ・農芸化学会等との共同でのシンポジウム・審査員研修会
- ・バイオ系学科には女子学生が多い
 - 技術士生物工学部門における女性の割合が高いことから
女子修了生のキャリア（再）構築への有用性を強調

今後に向けて

- 中高生やその保護者への広報活動の充実
 - 教育プログラムの個性で選択
 - ガイドブック、出張授業への講師派遣（技術士会と連携）
 - 出張授業プログラムの整備・公表
- 文部科学省への積極的な働きかけ
 - ITやグリーン、バイオ、量子等の「成長分野」を中心に、**JABEE等の国際的な外部質保証の認証を受けるための組織構築をGP**として予算を割当て
- 経済界への働きかけの強化
 - 修了予定者と企業との懇談の場の設定
 - 修了予定の積極的な採用、就職に有利！
- 各分野に関連する資格認定団体等に、試験(一部)免除制度の導入の働きかけ（分野毎）
- 技術士会との連携強化
 - 技術士会とプログラム修了生との情報交換の場の設定